

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラスジュニア西浦和教室		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 12日		～ 令和7年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 16日		～ 令和7年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からお子様の状況を保護者様と伝え合い、お子様の健康や状況について共通理解を図ることが出来ている。	レッスン毎に子育てに対する悩みや相談へのアドバイスを実施しており、レッスン終了後にはフィードバックとして、お子様の得意なところや成長している点等を丁寧にお伝えしている。	今後、必要に応じて通われている小学校や利用されている他事業所との連携を強化していく。
2	利用に関しては、運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行い、個別支援計画に沿った支援と子どもの特性等に応じた専門性のある支援を行っている。	児童発達支援管理責任者が丁寧な説明を心掛け、保護者様に承諾を得てからご利用いただいている。個別支援計画に沿った支援を行う中で、一人ひとりの特性を把握し、良質な支援が出来るよう努めている。	個別支援計画更新時期に実施するカンファレンスに限らず、日頃から職員間でお子様の様子をこまめに共有する。サービス提供記録に詳細な記録を残すことで、情報を共有し、一貫した支援を行っていく。
3	安全面や衛生面にも配慮し、安心して心地よく過ごせる環境を整えている。	コーナーガードやベビーゲートを設置し、大きな怪我に繋がらないよう配慮している。 手洗いや消毒等の感染症対策に努め、丁寧な清掃や整理整頓を心掛けている。	引き続き安全面に配慮し、怪我につながらないような環境を整備する。 感染症が蔓延しないよう感染症対策を徹底していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会がない。	保護者様からのご要望が無く、現状では個別に相談援助や子育てに対するアドバイス等を行っている。	現状では、保護者様個々にご相談に応じられるよう努めているが、今後必要に応じて実施していく。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等は策定されているが、保護者様の中に周知・説明を受けていないと感じておられる方がいる。	プレイルームの本棚に設置しているが、十分な周知がされておらず、閲覧されたことが無い保護者もおられる。	再度、本棚に設置してあることを保護者様にお伝えする。
3	地域で他の子ども達と活動する機会がない。	親子通所型療育の特性上、外出してその地域の子どもたちと交流する時間を持つことが難しい。	今後、ニーズや運営状況に応じて検討する。